

令和3年度第1回酒田市公民館運営審議会 会議記録

令和3年9月7日（火）

午後2時00分～3時30分

総合文化センター412号室

- 出席者 大塚黄司委員、前田茂実委員、岡部覚委員、山口昇子委員、大滝美樹委員、成澤つるみ委員
- 欠席者 阿部雅彦委員、高橋利春委員、加藤千鶴委員、佐藤春佳委員、佐藤純子委員
- 事務局 阿部課長、村井課長補佐、深松課長補佐、小野社会教育主査兼係長、庄司主事、佐々木主事、佐藤専門員、

○委任状交付

○自己紹介

1 開 会（事務局）

2 課長あいさつ

3 委員長及び副委員長の選出

4 委員長あいさつ

5 協 議

（1）令和3年度中央公民館主要事業・令和4年度中央公民館事業について（事務局 内容説明）
＜質疑応答＞

委員長 コロナ禍の中、担当者は苦勞しているだろう。公民館運営審議会の委員としては、酒田市におけるコロナ禍での社会教育、公民館事業のあり方について、市民感覚で感想や提言を述べていただければと思う。委員の意見は令和4年度事業に反映される。率直な意見をお願いしたい。

委員 自分が一番馴染みのあるものはカモンくんニュースで、子どもが学校から持ち帰ってきたものを拝見していた。また、カモンくんニュースに掲載されていた公民館事業にも幾度か参加している。改めて御礼を申し上げたい。事業については、幅広い対象に向けてテーマも広く設定されているという印象があり、知識を深めるというよりは基礎知識を身に着けるこ

とを目的としていると思われる。「今さら人にきけないお金の話いろいろ」講座について、お金の話は大切な話だと思うが、講座で取り上げてしまうと講師の考え方に受講生の考え方も偏ってしまうのではと危惧する。お金はあくまで個人のものなので、様々な考え方や方法があるということをお話していただきたい。

委員 率直な感想として、幅広い年代に向けて様々な講座を実施していることに驚いた。私は青年会議所に入会してからの大半を酒田まつりに費やしてきた。「酒田文化伝承シリーズ」について、酒田まつりを取り上げて面白いと思う。せっかく市民のまつりとして盛り上げていきたいところなのに、その想いが上手く伝わっておらず、各小学校によって関わり方が大きく違っていたり、一部の地域の人たちだけが盛り上がっていたりというのが現状だ。また、「国指定史跡『山居倉庫』を学ぶ」講座について、自分も大人になってから山居倉庫に興味をもつようになったが、国指定史跡になったことも踏まえ、小学生の内から山居倉庫の歴史的な部分を知る機会があってもよいと思う。堅苦しくなく面白味のある講座を期待したい。最後に「新成人マナーアップ講座」について、自分も二十歳のときにこのような講座を受けておきたかった。

委員 年齢層に沿った事業を展開していることが凄いなと思う。「幼児すてっぷ出前講座」は当園でも毎年活用している。「庄内柿を学ぼう！ 収穫しよう！」講座について、各園でもそれぞれ工夫して地元への愛着を育む学習を取り入れているが、地域性の違いから触れる機会がない子どもたちもいる。全市的な募集の講座はそのような子どもたちへの機会の提供となるだろう。また、「今さら人にきけないお金の話いろいろ」講座は個人的にも興味がある。マイナス面についても教えていただければ、より充実した企画になると思う。

委員 これまで発表された委員からも指摘があったが、新任の委員は今日何をするのかわからない状態で来ている。資料を事前に送付していただければ、一読し疑問点などもまとめてくることができる。また、事業を実施している以上、成果や結果を考察していると思うが、参加人数やアンケート結果など簡潔に説明していただきたい。質問が二つある。各事業の最低開催人数は決めているのか。もう一つは、今年度予定していた事業の中でコロナ禍に対応しリモート等実施方法を変更した例はあるか。

事務局 資料について事前配布するよう努める。また、最低開催人数について決めているわけではないが、幸い募集人数に近い申し込みがあったため、講座の中止を考えるような事態にはならなかった。今年度はコロナ禍ということもあり、例年より募集人数を抑える必要もあった。コロナ禍に対応した実施方法の工夫については、「酒田愛ごはん」講座において、調理実習がメインだった料理講座を、調理する前段階の在来野菜に関する知識の習得をメインに変更した。また、他の事業においても講師と相談し、例えば同じ用具を複数の子どもが共有するようなメニューはより接触の少ないメニューへと調整している。

委員 説明の中で一部の講座の参加人数が示されていたが、コロナ禍で制限しているとはいえ少ないように思えた。せっかく一年間用意してきたのにそれでよいのだろうかと思った。また、講座のPRについて、市広報に複数回掲載できないだろうか。掲載された1回を見逃し

て参加できなかった方もいるようだ。さらに、広報に掲載してから募集までの期間が短い。移住者にとって知らない土地での生活は引きこもりがちになるが、文化センターがそのような方たちの拠り所となればよいと考えていた。そのような取り組みがあるとよい。子ども向けのイベントが多いように思う。自分が以前小学校で役員をしていた時も相撲体験や相撲体操、魚拓などを行った記憶があるが、そのイベントにも一体何名の児童が参加していたのか疑問だった。普段文化センターを利用している団体として、様々なイベントができない状況であるが、パネルなどの貸し出しをお願いしたい。今年度の生涯学習まつりではアンケートで団体の意向を調査していたが、そのアンケートの結果がどのように反映されているのかわからない。例えば、パネルの貸し出しなど対策を周知していれば参加団体が増えたと思う。そういった働きかけをしてほしい。

事務局 広報への複数回の掲載はできない。こちらとしてもお願いしたいと思っているが、ルールとして掲載は1回のみである。

委員長 Pay-Pay の支払いで割引になる取り組みはとてもよかった。それに関連する勉強会もとてもよかった。また、各コミ振で取り組まれている地域の教育力向上事業は、それぞれの地域の特性が活かされ、とてもよい効果を上げていると思った。拡充していくことを願う。気になったところは成人式について、先日三川町で成人式に関連したコロナ感染者の報道があり、遊佐町でも11月の実施は中止した。新成人による成人式実行委員会を立ち上げ、企画運営準備に携わり学んでいくことは社会教育としてよいと思うが、これからも新たな変異株が出てくる可能性を考えると、実施の可否はそのときの状況をよく見て判断してほしい。判断は実行委員会ではなく、市が責任をもって行うこと。市民目線からの意見である。

○乳幼児期における事業について（事務局 内容説明）

委員 当園では日和山公園を始め、酒田の文化に触れる場所が近いこともあり、園児を連れて行って学習に生かしたいと考えている。例えば、使用料が減免になる酒田市美術館に絵画や彫刻を見に行ったり、山王くらぶに傘福を見に行ったりする際、説明してくれる講師がいるとよいと思う。美術館や土門拳記念館、相馬楼などの文化施設とタイアップしての講座があると面白い。

委員 乳幼児が対象となると、先に述べた酒田まつりだと学習機会としてはなかなか難しい。社会人になってから酒田市立資料館を知ったが、先人たちが使用した道具に見て触れて楽しめる施設だった。小中学生であれば言葉での説明も効果があると思われるが、乳幼児であれば五感を使って学習した方が理解しやすいと思う。

委員 当園を含め各園、地域文化の継承として子どもたちの興味関心を得ることができるよう、文化施設の訪問や文化的行事への参加を行っている。その中でも酒田舞娘の演舞を直接見る体験は小さい子たちにとって貴重だと思う。また、山居倉庫や文化施設に乳幼児でも気軽に訪問できる講座があるとよい。幼い頃の感動体験は成長しても心に残り続ける。

委員 公益財団法人庄内能楽館では独自に各園への働きかけがある。先方は乳幼児の訪問を歓

迎しているが、なかなか園との日程調整に苦慮しているようだ。民間の積極的な団体に対して市のバックアップがあればよいと思う。

委員長 P T Aでは子どもの学習機会はあるが、親の学習機会はあるのか。

委員 子どもと親が一緒になってスマートフォンの使い方や、いじめについて考える機会を設けている。こちらは社会福祉協議会を利用している。同じ社教でもそれぞれの住み分けがあるのかと思った。また、話は異なるが、我が子は他課が管理している緑の少年団に加入している。酒田海洋少年団やマリーンジュニア合唱団は、社会教育文化課が所管となっているが、比較的似た内容の団体だけに一つの課でまとめて管理したほうがよいのではないか。同じ市が持つ団体であるに関わらず、所管課が異なるために告知方法もばらばらになっている。統一されることを望む。

(2) その他

特になし

6 報 告

(1) 生涯学習まつり2021の概要について(事務局 内容説明)

委員長 どの事業も中止にすることは簡単だが、できる限り対策を練って実施していきたいところである。酒田市芸術文化協会でも昨年度中止した事業について今年度の方向性を話し合った際、年配の会員は今後参加できる回数が限られていることを危惧し、事業の実施を強く希望していた。もちろん、その時の状況によっては中止も視野に入れている。

(2) その他

特になし

7 そ の 他

事務局 会議録の公開について、この会議も原則公開となっているためホームページ上で公開させてもらう。よろしく願います。

8 閉 会